

付属資料

1 就学前段階における子どもと読書に関する調査結果（概要）

❖ 調査の目的

「(仮称)新潟市子ども読書活動推進計画」を策定するため、基礎的な資料を得る目的で実施。

❖ 調査期間

平成20年8月15日～8月29日

❖ 調査対象と回収結果

(1) 保護者調査

新潟市に在住する1歳～5歳児の保護者 1,403人
有効回収 1,014人（回収率72.3%）

(2) 保育園・幼稚園調査

新潟市内の全保育園 201園・全幼稚園 55園
有効回収 234園（回収率91.4%）

❖ 主な調査事項

(1) 保護者調査

- ① 読書の好き嫌い
- ② 読書の大切さ
- ③ 読書を大切だと思う理由
- ④ 絵本の読み聞かせの大切さ
- ⑤ 絵本の読み聞かせを大切だと思う理由
- ⑥ 絵本の読み聞かせを行わない理由
- ⑦ テレビの平均視聴時間
- ⑧ 読書活動を活発にするために必要なこと

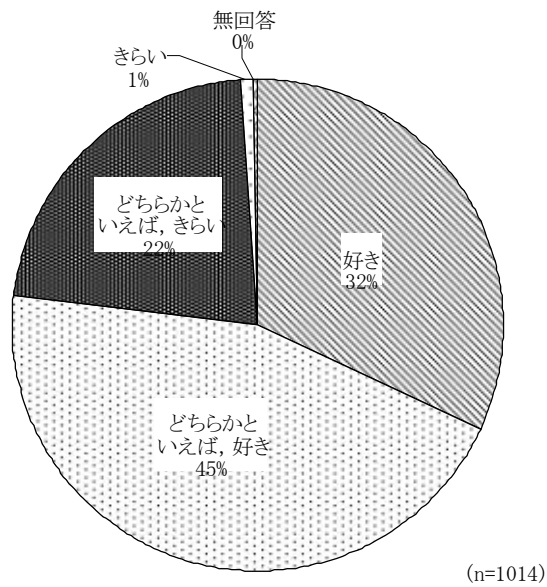
(2) 保育園・幼稚園調査

- ① 園で所蔵している絵本等の冊数
- ② 昨年度中に受け入れた絵本等の冊数と費用
- ③ 園で購入する本の選定方法
- ④ 子どもの本に関わるボランティアの有無・活動内容等
- ⑤ 家庭への絵本貸出の実施状況や方法等
- ⑥ 子育て中の家庭への絵本貸出の実施状況
- ⑦ 保護者に向けた読書の啓発活動の実施状況や内容等
- ⑧ 今後、読書活動を推進するために取り組みたいこと
- ⑨ 読書活動推進への取組に対する意見（）

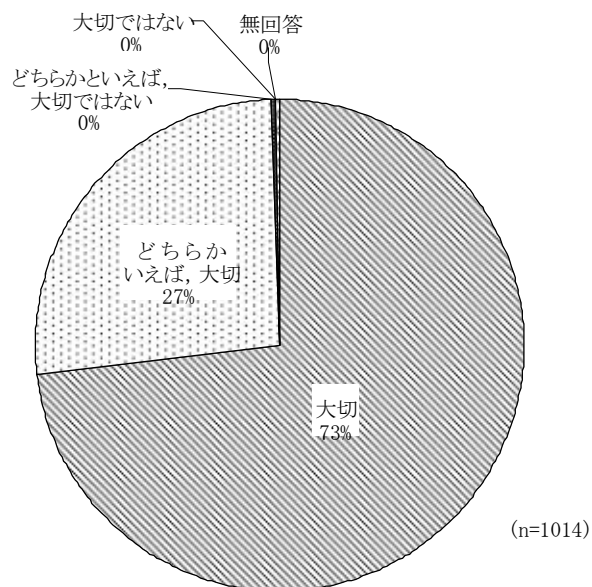
❖ 主な調査結果

(1) 保護者調査

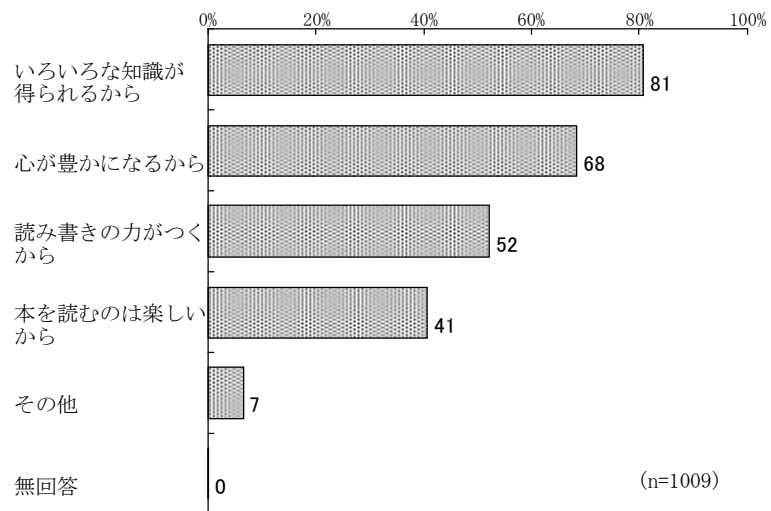
① 読書の好ききらい



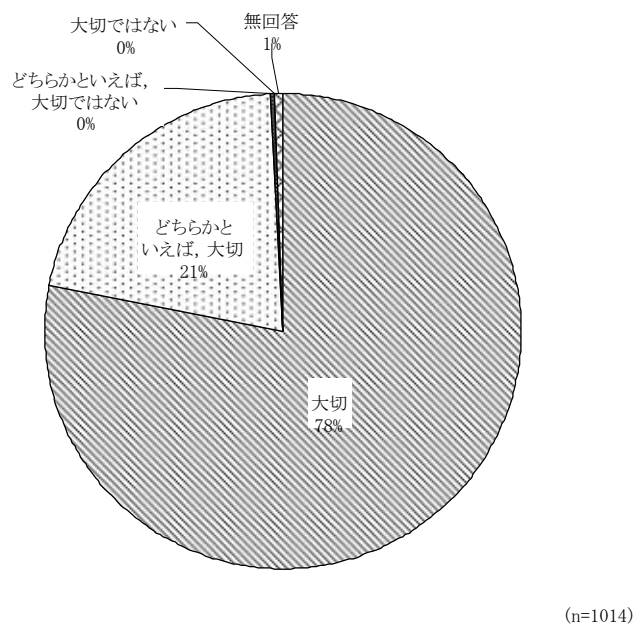
② 読書の大切さ



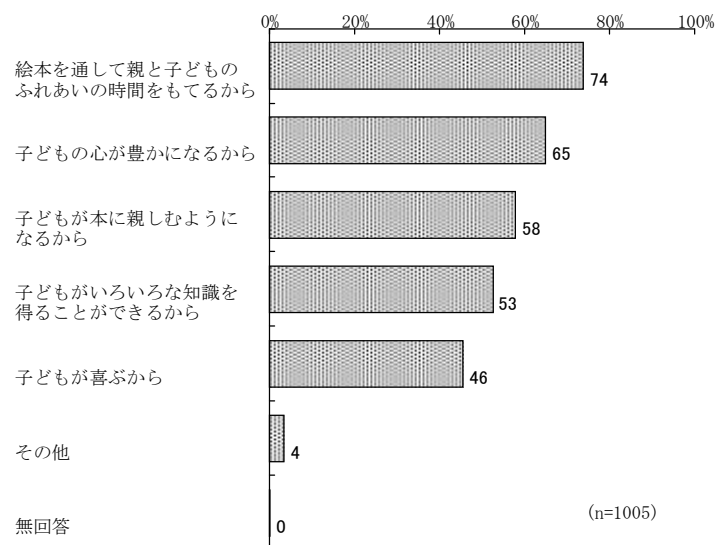
③ 読書を大切だと思う理由（〇はいくつでも）



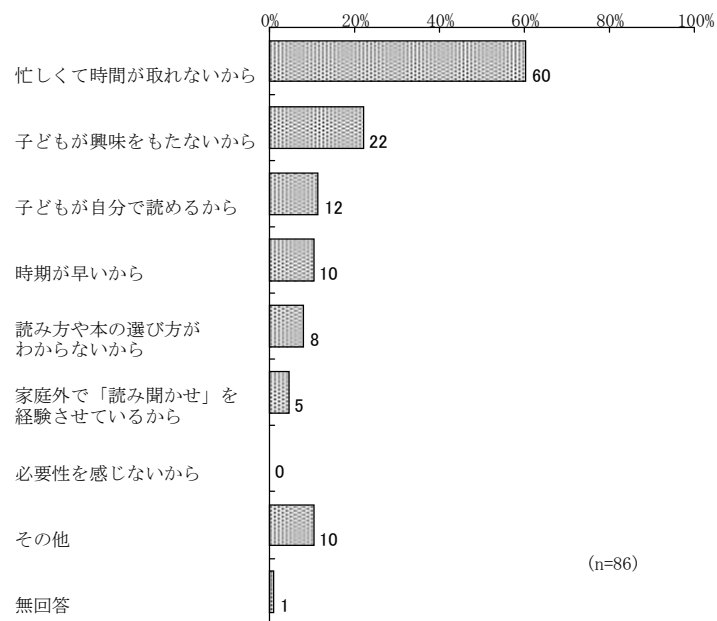
④ 絵本の読み聞かせの大切さ



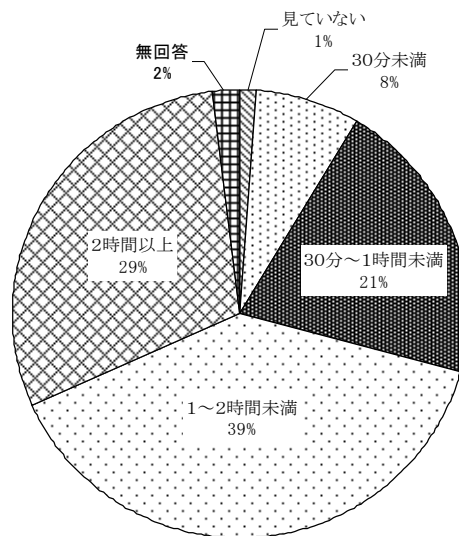
⑤ 絵本の読み聞かせを大切だと思う理由（〇はいくつでも）



⑥ 絵本の読み聞かせを行わない理由（〇はいくつでも）

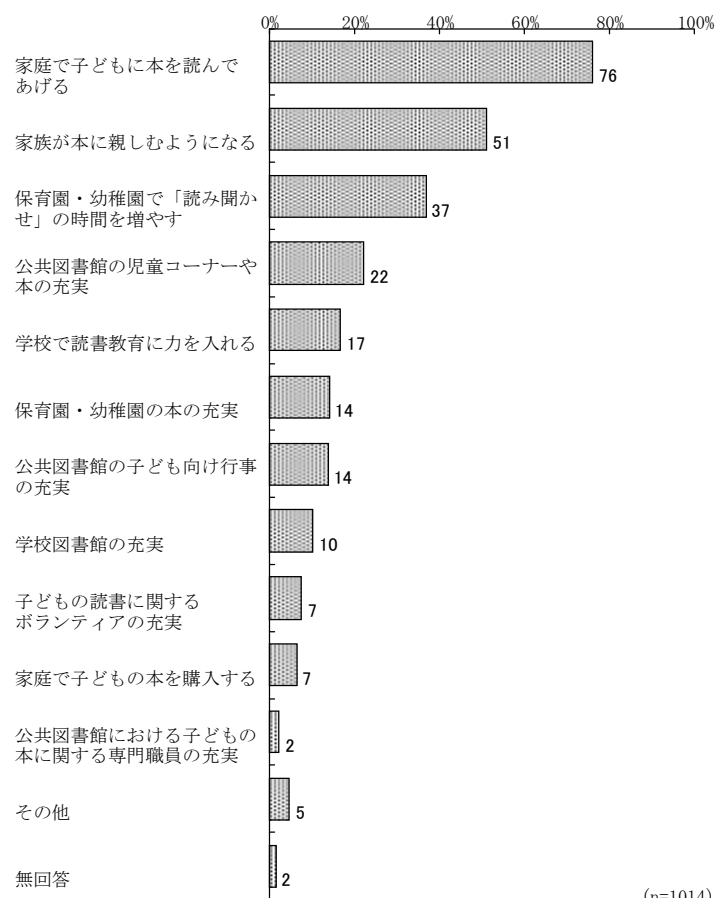


⑦ テレビの平均視聴時間



(n=1014)

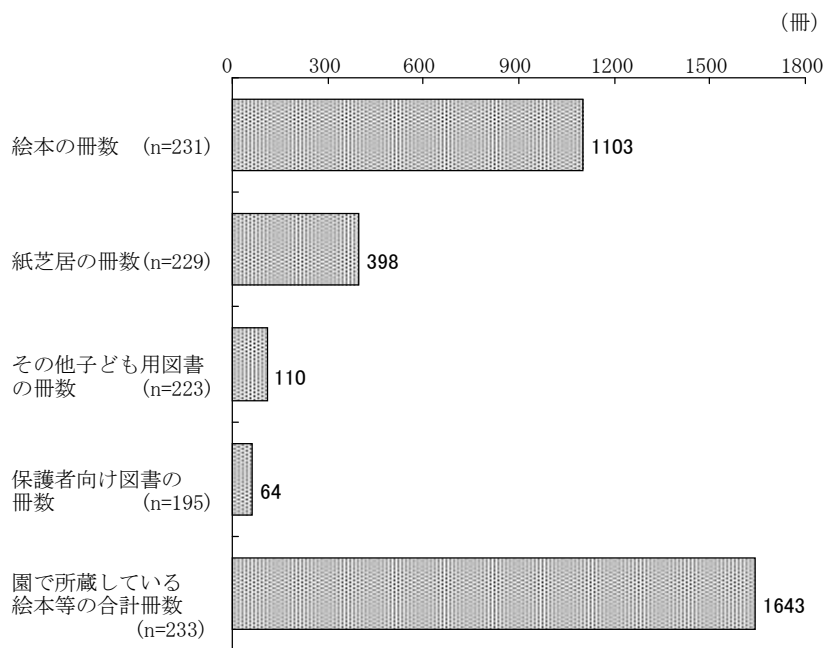
⑧ 読書活動を活発にするために必要なこと (〇は3つまで)



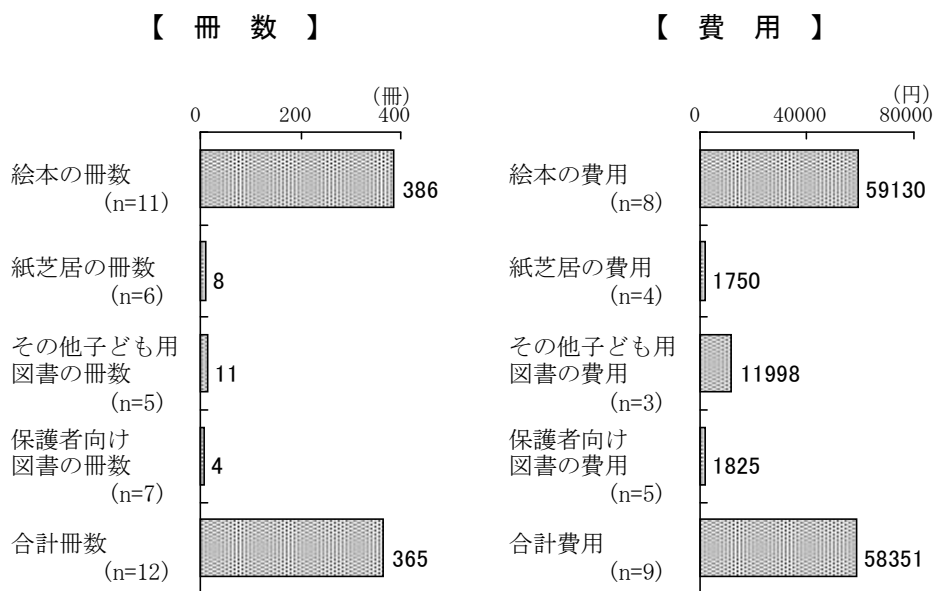
(n=1014)

(2) 保育園・幼稚園調査

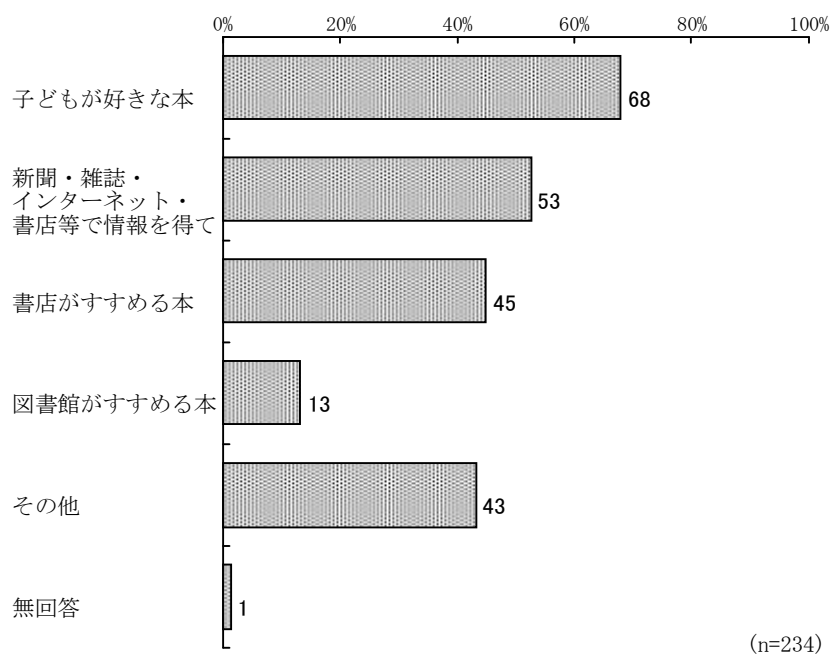
① 園で所蔵している絵本等の冊数（月刊雑誌を含む）



② 昨年度中に受け入れした絵本等の冊数と費用

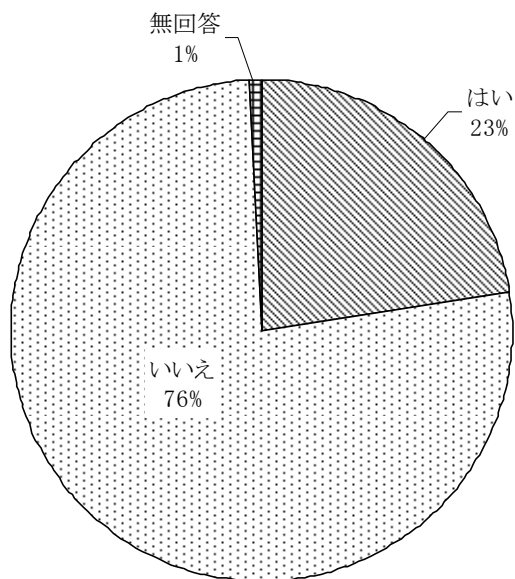


③ 園で購入する本の選定方法（〇はいくつでも）

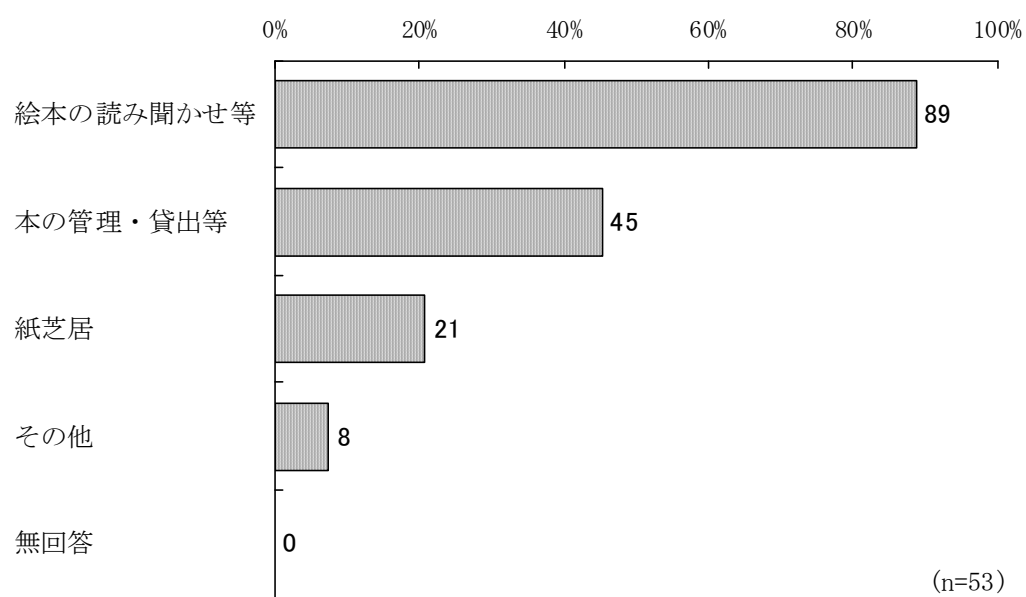


④ 子どもの本に関わるボランティアの有無・活動内容等

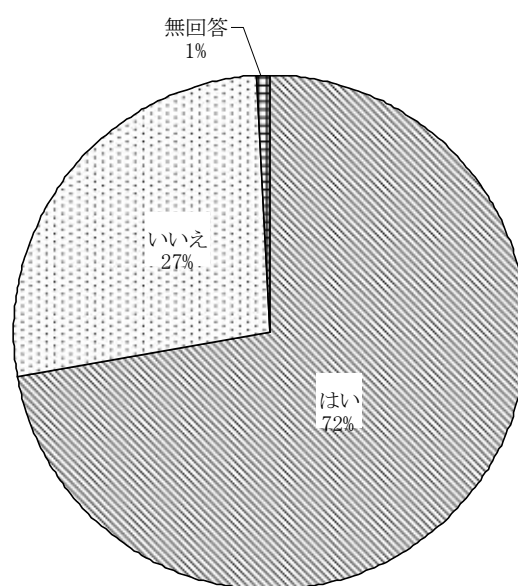
<ボランティアの有無>



<活動内容> (〇はいくつでも)



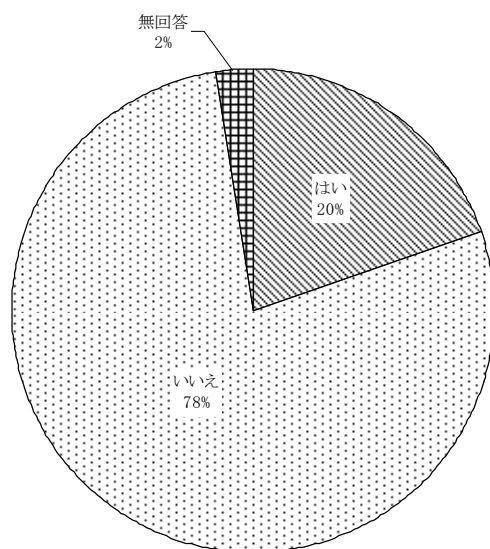
⑤ 家庭への絵本の貸出の実施状況や方法等



(n=234)

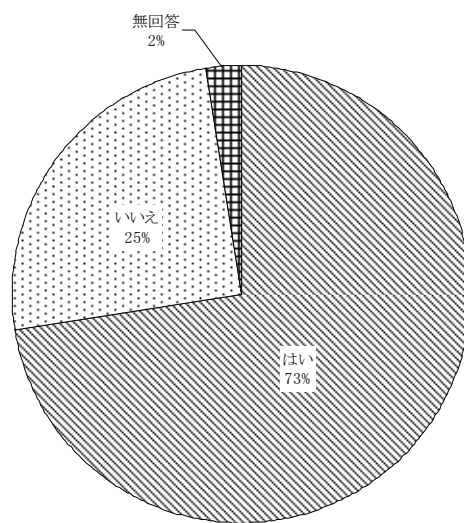
- ・「はい (=貸し出しを実施している)」と回答した169園に貸出期間を聞いたところ、有効回答142園の平均値は、5日間。
- ・貸出制限冊数を聞いたところ、有効回答(145園)の平均値は、5冊以内。

⑥ 子育て中の家庭への貸出の実施状況



(n=234)

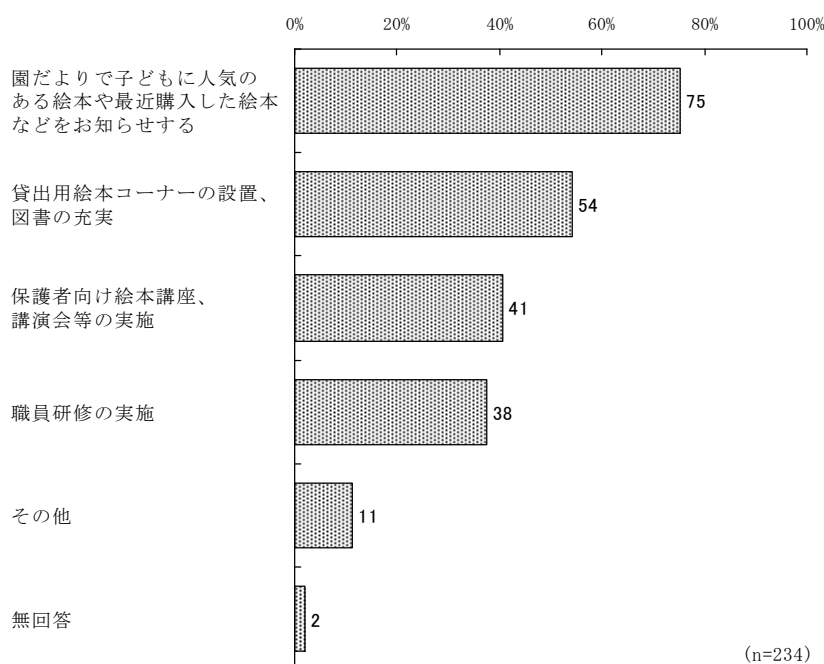
⑦ 保護者に向けた読書の啓発活動の実施状況や内容等



(n=234)

- ・「実施している」と回答した170園にその活動内容や実施頻度を聞いたところ、主な活動内容は、「園・クラス・絵本だより等での絵本の紹介」「講演会等の実施」「保護者向け絵本講座」などであり、その頻度は「年に数回程度」が多い。

⑧ 今後、読書活動を推進するために取り組みたいこと（〇はいくつでも）



⑨ 読書活動推進への取組に対する意見。

子どもの読書活動推進に関する取組についての意見を自由に記載してもらい、52園より回答が寄せられた。

（ 図書館への要望 ）

- ・ 図書館職員を園に派遣し、絵本の大切さや選び方について保護者に話をしたり、子どもへ読み聞かせをしてほしい。
- ・ 図書館で、保護者向けの読書の大切さや絵本の読み方・選び方についての講座を実施してほしい。
- ・ 年齢別等の推薦図書リストの配布。
- ・ 保護者が本を選ぶ参考になる情報を発信してほしい。
- ・ 移動図書館で園を回り、読み聞かせを行い本の貸出をしてほしい。
- ・ 本の配送をしてほしい。
- ・ 近くに図書館がほしい。
- ・ 図書館に行った時に、子どもたちに本の選び方や返却方法を話してほしい。
- ・ 園で読み聞かせをしてくれるボランティアを紹介してほしい。
- ・ 毎月定期的に絵本の読み聞かせのボランティアが来られるシステムがほしい。
- ・ 絵本の読み聞かせの機会があったら積極的に活用したい。
- ・ 園の蔵書の充実のために、図書館で不用になったリサイクル図書を提供してほしい。

(園での取組)

- ・ ゆっくりと本を読むスペース（コーナー）がほしい。
- ・ 子どもたちや親子がゆったりと絵本に向かえる静かな空間（絵本の部屋）があるといい。
- ・ 親子で帰り際にのんびり絵本を読んでいける「本の部屋」があるといい。
- ・ 本を充実させる予算がほしい。
- ・ 今まで絵本の貸出をしていなかったのを、自由に借りられるようにしたい。
- ・ 30年以上前から週に1回絵本の貸出を行い、子どもが自分で本を選び、親と共に読んで翌週に返却する。本好きな子どもが多くなり、表現活動が豊かになるようだ。
- ・ 毎週絵本の貸出をしているが、保護者の絵本に対する関心が薄いようなので、積極的に絵本だよりを出したり、講座を開いて興味を持ってもらうようにしたい。
- ・ 行事のプレゼントを絵本にして、より親しんでもらうようにしている。
- ・ おたよりなどでこれからも読書の大切さ、親子で絵本にふれる機会を多く持つていただくようにPRしていきたい。
- ・ 読み聞かせを充実し、本への興味を持たせたい。
- ・ まず絵本を読み聞かせる保育士が絵本の楽しさを知ることからだと思うので、園でも絵本にふれる機会を多くとり、親しめるように心がける。

(その他)

- ・ ブックスタートの取組を新潟市でも行ってほしい。今は絵本や読書にまったく興味のない親も多く、貸出をしても「読んでくれない」とそのまま持ち帰ってくる子がいるのが現状。初めての検診で絵本にふれる機会があれば、少しは違ってくるのではないか。

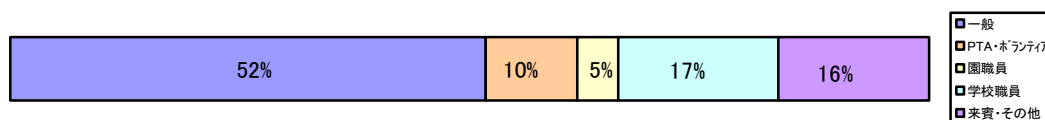
2 教育フォーラム2009「子どもの読書活動を進める市民のつどい」 アンケート結果（概要）

日時等 平成21年5月30日（土）午後1時30分～4時30分 会場：新潟市民プラザ

- ◇ 基調講演「今こそ、絵本のちから～子どもの成長、大人の再生のために～」
講師：柳田邦男（ノンフィクション作家）
- ◇ パネルディスカッション「子どもの読書活動を進めるために」
パネリスト 足立幸子（新潟大学准教授） 高野洋子（赤塚保育園園長）
佐藤勇（小児科医） 宮下寿雄（前新潟県学校図書館協議会会長）
アドバイザー 柳田邦男（ノンフィクション作家）
コーディネーター 篠田昭（新潟市長）

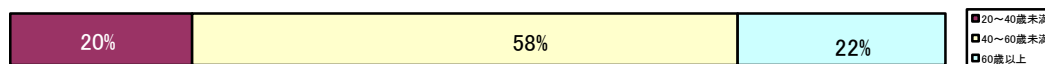
参加者 402人

一般208人(52%)，PTA・ボランティア40人(10%)，園職員18人(5%)，
学校職員70人(17%)，来賓・その他66人(16%)

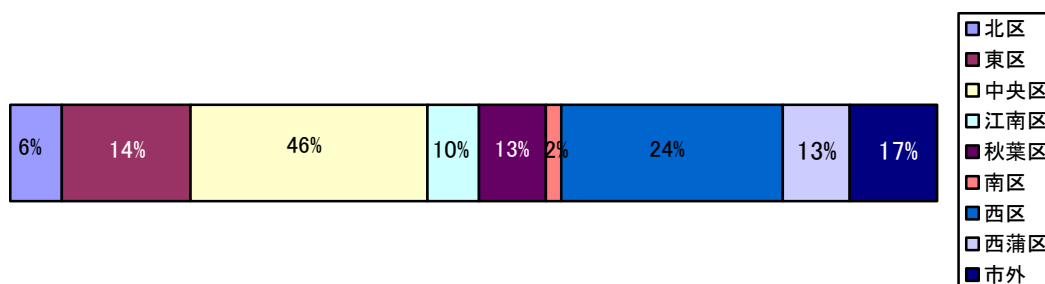


アンケート 回収数 180人 (回収率 44.8%)

□年 齢 20～40歳未満 35人(20%) 40～60歳未満 105人(58%) 60歳以上 40人(22%)

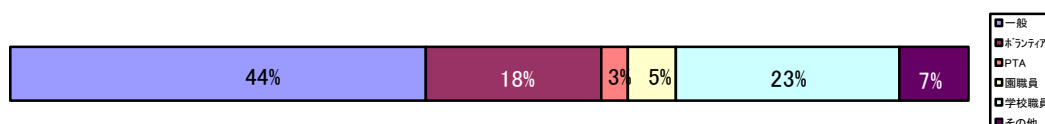


□住 所 北区 10人(6%) 東区 25人(14%) 中央区 46人(26%) 江南区 10人(6%)
秋葉区 13人(7%) 南区 3人(2%) 西区 43人(24%) 西蒲区 13人(7%)
市外 17人(8%)



□性 別 女性 143人(79%) 男性 37人(21%)

□職種等 一般 78人(44%) ボランティア 33人(18%) PTA 5人(3%) 園職員 9人(5%)
学校職員 42人(23%) その他 13人(7%)



□講演について

とても良かった 133 人(74%) 良かった 38 人(21%) 普通 9 人(5%) 良くなかった 0 人(0%)

【感想】 104 件(回答者の 58%)

○絵本から、読み聞かせによるエピソードから、心が温かくなり感動で涙がでました。(小中学校職員)

□パネルディスカッションについて

とても良かった 59 人(33%) 良かった 68 人(38%) 普通 51 人(28%) 良くなかった 2 人(1%)

【感想】 97 件(回答者の 54%)

○子どもに本を読ませるには、まず大人が変わるということがわかりました。学級文庫の充実はずいぶんやりたいと思う。(小中学校職員)

□子どもの読書活動を進めるために大切と感じたこと。【自由記述】 118 件(回答者の 66%)

家庭・地域で 69 件

- 様々なメディアに溢れた時代だからこそ、子どもとの絵本タイムを大事にしたい。(一般)
- 子どもの頃からの読み聞かせ、本の紹介、良い本に触れる。日常生活の中で読む時間を設けることが大切。(小中学校職員)
- 母親や祖母にはTV、ビデオの子どもに与える影響や怖さを伝えて欲しい。ノーテレビ、ノーゲームデーを実践している話を全家庭に知らせることが大切。(一般)
- 読み聞かせ体験の無い親に読み聞かせの重要性を感じさせるブックスタート(本を与えるだけでないもの)を実施すべきと思う。ひまわりクラブでも、読書活動にきちんと取り組むべきと思う。(一般)

保育園・幼稚園で 1 件

- 保育園・幼稚園での楽しい読書体験や、本に出会わせてくれる人との出会いが大切。(一般)

学校で 23 件

- 親子で絵本を読むこと、絵本の楽しさを伝えるボランティアの読み聞かせを広げていき、学校では、先生も読み聞かせを聞くゆとりを持ち、まず先生が絵本を楽しむことが大切。(ボランティア)
- 親の意識改革。行政や学校がどう努力し、親と連携していくかが問題。新学習指導要領の実施で、学校が自主的な意志で取り組んでいた朝読書の時間などが教科の学習に使われていくのではないかと危惧している。(一般)
- 教育現場からの活動が大切。ノーテレビデーの実践は有効的手段と思う。(一般)

図書館で 13 件

- 子育て中のお母さん・保護者が、絵本についての知識等を学ぶ機会を多くしていくことが必要。(一般)
- 図書整備に充実した予算を付けてほしい。(一般)
- 若いママたちに絵本の読み聞かせを知ってもらうため、ボランティアを増やし、いつでもどこでも活動できる体制を整えることが大切。(ボランティア)
- ブックスタートの実現が大切。(一般)

その他・社会全体で 12 件

- 厳しい社会環境の中、子どもへの読み聞かせの大切さをどうやって伝え、実践してもらうことができるかを考えていくことが必要。(一般)
- 親と学校と社会全体での取り組みが大切。(PTA)
- 読み聞かせをする人が、自身を持ってその本への思いを子どもたちに語る事が大切。(小中学校職員)

3 (仮称)新潟市子ども読書活動推進計画策定有識者会議設置要綱

(設置)

第1条 (仮称)新潟市子ども読書活動推進計画(以下「推進計画」という。)を策定するため、(仮称)新潟市子ども読書活動推進計画策定有識者会議(以下「有識者会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 有識者会議は、次に掲げる事項について検討し、その結果を新潟市に報告する。

- (1) 子どもの読書活動の推進のための方策
- (2) 子どもの読書活動を推進するための諸条件の整備
- (3) その他子どもの読書活動全般にかかる事項

(組織)

第3条 有識者会議は、教育長が委嘱する別表に掲げる者をもって組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は、有識者会議終了までとする。ただし、任期中に委員が交代するときは、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長)

第5条 有識者会議に座長を置き、委員の互選により定める。

- 2 座長は有識者会議を統轄し、会務を掌理する。
- 3 座長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ座長の指名する副座長が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 座長は、有識者会議の会議を招集し、その議長となる。

- 2 議長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(事務局)

第7条 有識者会議の事務局は中央図書館に置く。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、有識者会議の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

(期間)

第9条 有識者会議の期間は、平成22年3月31日までとする。

附 則

この要綱は、平成20年11月1日から施行する。

別表(第3条関係)

委員氏名	所属・職名
あだち さちこ 足立 幸子	新潟大学教育学部准教授
あらかわ まさあき 荒川 正昭	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター長
さとう いさむ 佐藤 勇	小児科医
しょうどう かほる 正道 かほる	童話作家
たかの ようこ 高野 洋子	赤塚保育園長
まとう すすむ 間藤 侑	前新潟青陵大学大学院教授
みやした ひさお 宮下 寿雄	前新潟県学校図書館協議会会長

4 (仮称)新潟市子ども読書活動推進計画庁内検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 (仮称)新潟市子ども読書活動推進計画(以下「推進計画」という。)を策定するため、(仮称)新潟市子ども読書活動推進計画庁内検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は次の事項を所掌する。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) 推進計画に関する施策について、関係課・機関相互間の調整に関すること。
- (3) 推進計画に関する施策についての調査研究に関すること。

(組織)

第3条 検討委員会は別表1に掲げる者をもって組織する。

2 検討委員会に委員長を置き、委員長は中央図書館を所管する教育次長をもって充てる。

(会議)

第4条 委員長は検討委員会を招集し、その議長となる。

2 議長は必要に応じて関係者の出席を求めることができる。

(ワーキンググループ)

第5条 検討委員会にワーキンググループを設置する。

2 ワーキンググループは、別表2に掲げる者をもって構成する。

(事務局)

第6条 検討委員会の事務局は中央図書館に置く。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(期間)

第8条 検討委員会の期間は、平成22年3月31日までとする。

附 則

この要綱は、平成20年6月10日から施行する。

別表1(第3条関係)

部	委員
文化スポーツ部	文化政策課長
健康福祉部	こども未来課長
	保育課長
	障がい福祉課長
	保健所健康衛生課長
経済・国際部	国際課長
中央区役所	中央区健康福祉課長
教育委員会	教育次長(中央図書館長)
	教育総務課長
	学務課長
	施設課長
	生涯学習課長
	総合教育センター所長
	教職員課長
	学校支援課長
	地域と学校ふれあい推進課長
	生涯学習センター次長(中央公民館長)

別表2(第5条関係)

部	ワーキンググループ構成員
健康福祉部	保育課(指導保育士1名)
教育委員会	学校支援課(指導主事1名)
	学校司書(小学校1名)
	学校司書(中学校1名)
	中央図書館(事務局10名)
計	14名

5 計画策定の経過

平成20年

- 6月10日 ☆ 第1回庁内検討委員会
 - ・「現状と課題」について（その1）
- 8月～9月 **就学前段階における子どもと読書に関する調査**
- 11月12日 ☆ 第2回庁内検討委員会
 - ・「現状と課題」について（その2）
- 22日 ★ **第1回有識者会議**
 - ・計画策定の趣旨説明
 - ・「現状と課題」について（その1）

平成21年

- 1月22日 ★ **第2回有識者会議**
 - ・「現状と課題」について（その2）
 - ・委員の現状認識と提案について（その1）
- 2月10日 ☆ 第3回庁内検討委員会
 - ・有識者会議における検討状況について（その1）
- 3月 2日 ★ **第3回有識者会議**
 - ・保育園・中学校の学校図書館を視察
- 6日 ★ **第4回有識者会議**
 - ・小学校の学校図書館を視察
 - ・視察を踏まえた意見交換
- 4月22日 ★ **第5回有識者会議**
 - ・政令市における「子ども読書活動推進計画」の状況について
 - ・教育フォーラム2009に向けて
- 5月13日 ☆ 第4回庁内検討委員会
 - ・有識者会議における検討状況について（その2）
- 30日 **教育フォーラム2009「子どもの読書活動を進める市民のつどい」を開催**
- 6月28日 ★ **第6回有識者会議**
 - ・教育フォーラム2009を終えて
 - ・委員からの提案について（その2）
- 7月29日 ☆ 第5回庁内検討委員会
 - ・有識者会議における検討状況について（その3）
 - ・計画の骨子について

- 8月27日 ★ **第7回有識者会議**
・計画の骨子について
- 10月 8日 ☆ 第6回庁内検討委員会
・有識者会議における検討状況について（その4）
・計画の素案について
- 29日 ★ **第8回有識者会議**
・計画の素案について